

J X T Gグループにおける E S G経営

代表取締役社長 杉森 務

JXTGホールディングス株式会社

0. 当社が描く2040年の社会シナリオ



低炭素・循環型社会



安価な再エネ
の大量導入

ガソリン車大幅減
EV・シェアリング・
蓄電池が主体

分散型太陽光発電
+
蓄電池

資源（プラ・金属）の
リサイクル
インフラが拡充

多様なサービス提供者が生活を快適に

A nighttime cityscape with a dark blue sky, a crescent moon, and a city full of lights. The image is overlaid with large, semi-transparent geometric shapes in shades of blue and teal. The text is positioned on the left side of the image.

01
新たな価値を
創造していくストーリー

JXTGグループ理念

使命

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。
エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

大切にしたい価値観

社会の一員として

高い倫理観

誠実・公正であり続けることを
価値観の中核とし、
高い倫理観を持って
企業活動を行います。

安全・環境・健康

安全・環境・健康に対する
取り組みは、生命いのちあるものにとって
最も大切であり、
常に最優先で考えます。

人々の暮らしを支える存在として

お客様本位

お客様や社会からの期待・
変化する時代の要請に
真摯に向き合い、
商品・サービスの安定的な
供給に努めるとともに、
私たちだからできる
新たな価値を創出します。

活力ある未来の実現に向けて

挑戦

変化を恐れず、新たな価値を
生み出すことに挑戦し続け、
今日こんにちの、そして未来の課題解決に
取り組みます。

向上心

現状に満足せず、一人ひとりの
研鑽・自己実現を通じて、
会社と個人が
ともに成長し続けます。

1 - 2. 現状の事業と強み、社会との関わり

事業と強み

多様・グローバルな
バリューチェーン

精製・生産・供給
ネットワーク

革新的技術

世界10カ国で探鉱・
開発・生産活動を展開

原油・天然ガス
権益生産量

11万バレル/日
(天然ガス販売比率63%)



安定的かつ
効率的な
石油輸送



資源開発

輸送

精製・製錬

製造・販売・リサイクル

効率的な鉱山運営による
資源の安定確保
銅鉱山権益生産量

20万トン/年



鉱硫船使用による
環境負荷低減
排出ガス

40%削減
(バラ積み船比)



機能材
高機能な素材で
ソリューションを提供



銅地金生産能力
世界
トップクラス
(参考:
年間約92万トン)



パラキシレン供給能力
アジアNo.1
(外販量ベース
362万トン/年)



情報化社会を支える先端素材
世界シェアNo.1の製品群



プロピレン供給能力
アジアNo.1
(外販量ベース170万トン/年)



リサイクル集荷拠点数
国内外9カ所



社会が求めるエネルギーニーズに対応

発電能力

155万KW
(再生可能エネルギー)

5.0万kw)

日本でトップの
石油精製能力
原油処理能力

193万
バレル/日

電気小売り件数

約52万件

ENEOSでんき

国内燃料油販売シェア

約50%(国内No.1)

国内サービス
ステーション数シェア

43%(国内No.1)

潤滑油の
日本国内・海外への供給

海外拠点31カ所

新しいエネルギー需要にも対応
国内水素ステーションシェア

約40%(41カ所)

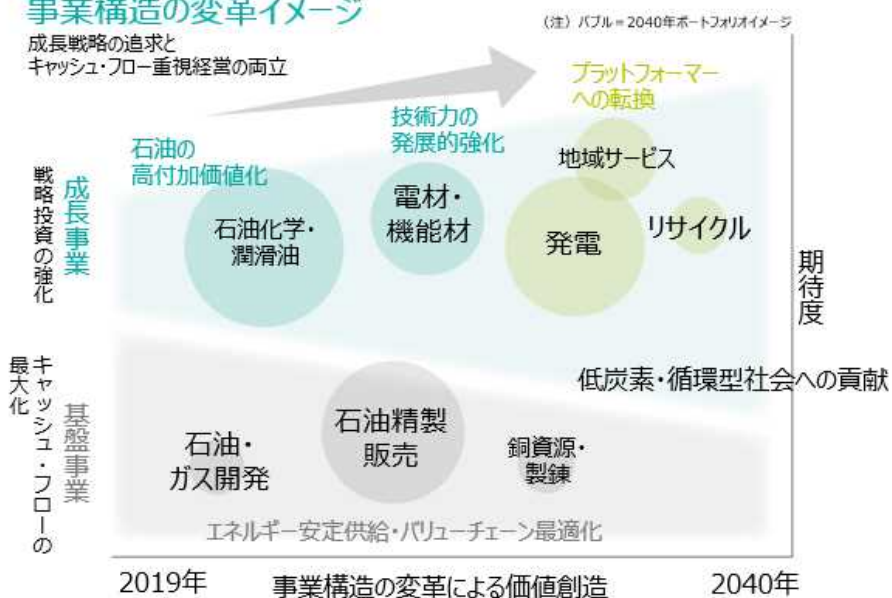
1 - 3. 長期ビジョンの概要 (ありたい姿)

ありたい姿

1. アジアを代表するエネルギー・素材企業
2. 事業構造の変革による価値創造
3. 低炭素・循環型社会への貢献

事業構造の変革イメージ

成長戦略の追求と
キャッシュ・フロー重視経営の両立



SDGsへの貢献

事業活動を通じて
貢献 (重要5項目)



企業活動を通じて
貢献 (重要5項目)



1-3. 長期ビジョンと中期経営計画の位置づけ

2040年の
社会シナリオ

変わりゆく
未来を見据える

未来を見据えて
ありたい姿を描く

ありたい姿をもとに
経営戦略を策定・実行していく

2020-2022年度
第2次中期
経営計画

戦略の実行により
長期ビジョンを実現

2040年
JXTGグループ
長期ビジョン



02

ありたい姿に向けた
経営基盤

2-1. ガバナンス強化の取り組み

年1回：
取締役会の
実効性評価

2020年6月
(予定)

実質的な事業持株会社への移行

現在

社外(独立)役員比率 35.3%、
女性役員比率 17.6%

2019年6月

相談役および顧問の廃止

2018年
12月

コーポレートガバナンスに関する基本方針の見直し
(政策保有株式、経営陣幹部の解任方針、後継者計画等の項目について)

2018年6月

監査等委員会設置会社に移行

2017年度

株式報酬制度の導入、全社的リスクマネジメント
(ERM)の整備・運用開始

2017年4月

JXTGグループ発足

2-3. ESG課題への対応

事業を通じて実現する社会価値

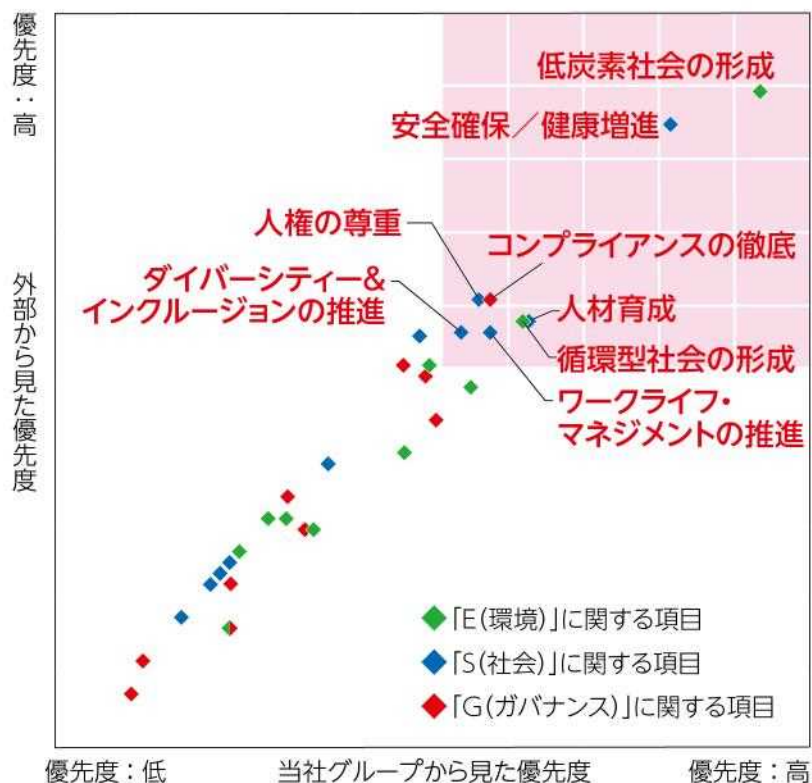
- 安定したエネルギー・資源・素材の供給
- 生活の利便性・高付加価値の提供

- 低炭素社会の形成
- 循環型社会の形成

- 安全確保
- 人権の尊重
- 人材育成
- ダイバーシティ&インクルージョン
- ワークライフ・マネジメント
- 健康増進
- コンプライアンスの徹底

グループCSR最優先課題
(マテリアリティ)の解決

グループCSR最優先課題マップ



2-4. 人材育成と組織活性化

持続的な成長・発展を見据えた取り組み

1. リーダーの育成（経営人材育成）

2. 一人ひとりの能力最大化

変革に向けた経営陣による「行動宣言」

場所、時間、服装にとらわれない働き方

- ・テレワーク
- ・コアタイムなしフレックス
- ・カジュアル365



キャリアを途切れさせない制度

- ・転勤猶予/私費留学休職/配偶者転勤同行
- ・キャリア継続支援休業



意欲を持って挑戦できる
企業文化の醸成

- ・社内ベンチャープログラム「チャレンジX」
- ・長期ビジョン策定タスクフォース（若手社員も公募）



※一部、会社によって適用範囲が違う場合があります。

「わくわく会議」

従業員の「わくわく」を高めるための課題や方策について、PDCAサイクルに基づき、経営陣が討議



03
ありたい姿に向けた
事業機会の創生

3-1. 社会課題解決に向けた事業例

成長事業

石化・潤滑油

- ケミカルリファイナリーの推進
- 環境配慮型商品の開発

電材・機能材

- 高機能素材の供給
- **製品開発-ニュートリション**

地域サービス

- プラットフォーマーへの転換

発電

- 最適な電源ポートフォリオの構築
- **再生可能エネルギー**
- **水素**

リサイクル

- **金属・廃プラスチックリサイクル**

※青字：次ページ以降で紹介の事業例

基盤事業

エネルギー安定供給・バリューチェーン最適化

石油・天然ガス開発／石油精製販売／銅資源・製錬

- 石油精製プロセス・金属製錬プロセスの効率化
- CO2-EORプロジェクト



テキサス（CO2-EORプロジェクト）

3 - 2. 成長事業（低炭素社会の形成）

1. 再生可能エネルギー （発電）



社会価値 （関連するSDGs）



下松メガソーラー発電所



風力発電機

台湾洋上風力プロジェクト



下田温泉バイナリー発電所

- メガソーラー
- バイオマス
- 水力・風力・地熱

3 - 2. 成長事業（低炭素社会の形成）

2. 水素事業
(発電、地域サービス)



社会価値
(関連するSDGs)



再生可能エネルギー

課題

供給の
平準化

大規模な
量の確保

経済性

水素

貯蔵・運搬による平準化が可能

水素運搬に必要な有機ハイドライド製造工程
(メチルシクロヘキサン：通称 MCH)

従来技術

水電解

水素タンク

トルエン
水素化

2工程が1工程で済み、
設備コスト

約 **50%** 削減

有機ハイドライド
電解合成法

トルエン電解還元

3 - 2. 成長事業（低炭素社会の形成）

2. 水素事業
(発電、地域サービス)



社会価値
(関連するSDGs)



再生可能エネルギー

課題

供給の平準化

大規模な量の確保

経済性

海外とのパートナーシップの重要性

<メチルシクロヘキサンの例>



海外

大規模
太陽光発電



つくる

メチル
シクロ
ヘキサン

JXTG
独自技術

はこぶ

タンカー



JXTG既存設備
の活用

脱水素
システム

つかう

水素



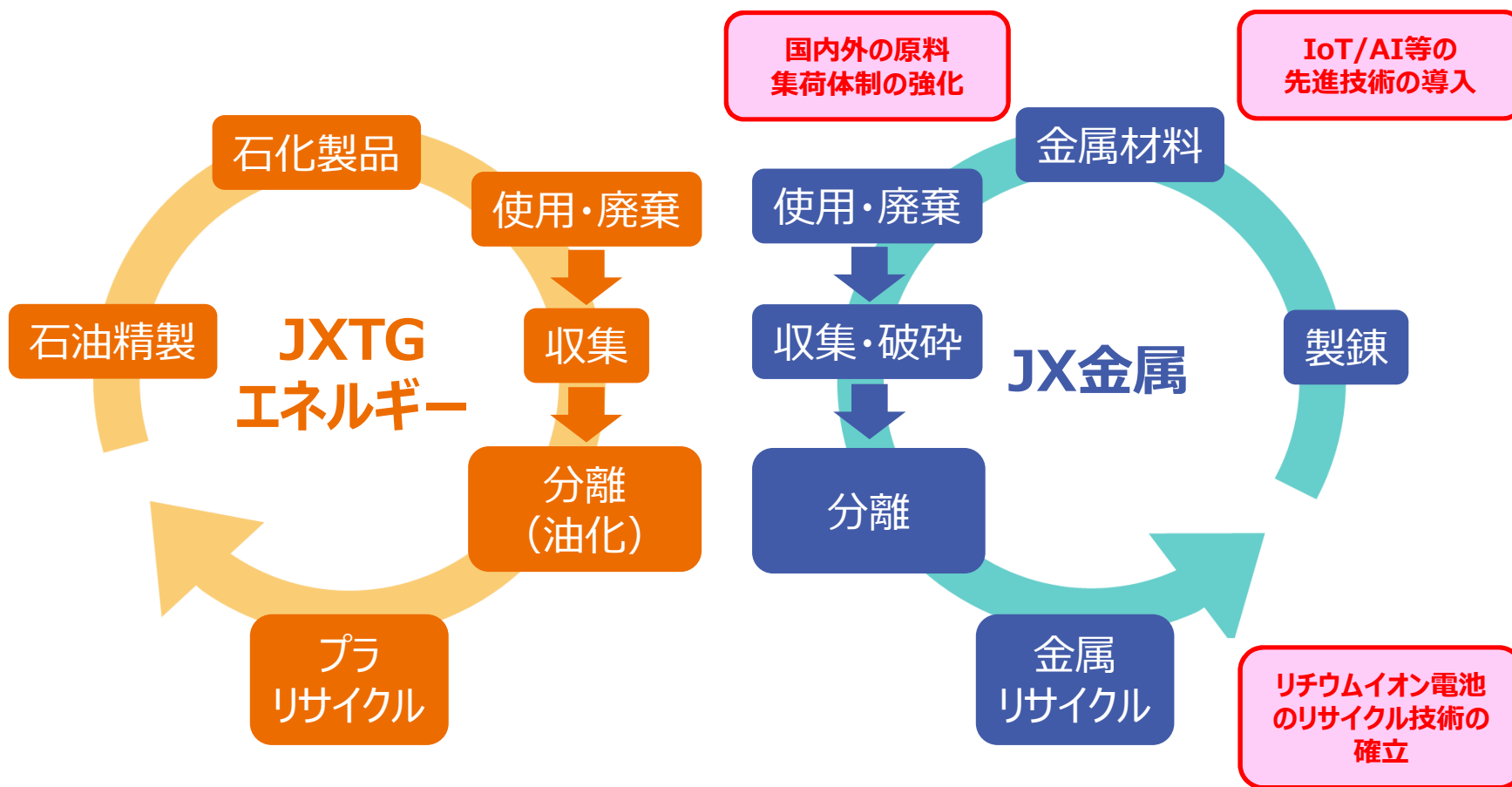
日本

3-2. 成長事業（循環型社会の形成）

3. 金属・廃プラスチック (リサイクル)



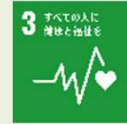
社会価値 (関連するSDGs)



3-2. 成長事業（健康）

製品開発-ニュートリション
(機能材) ×

社会価値
(関連するSDGs)



AdoniCare™ 健食用カロテノイド

独自菌（海洋バクテリア）・
発酵技術で生産

アスタキサンチンやレアカロテノイドを含む本製品の商業
生産に成功し、健康食品およびサプリメント用途へ展開。

JXTGグループが
製造する製品

使用用途

期待される効果

アドニケア
AdoniCare

サプリメント
機能性食品・飲料

QOLの向上
抗酸化作用
アンチエイジング

- ・目の健康
- ・脳機能改善
- ・コレステロール低減
- ・皮膚の抗炎症作用

など



04
ありたい姿に向けた
未来への種まき

4-1. オープンイノベーションによる新素材開発

JXTG

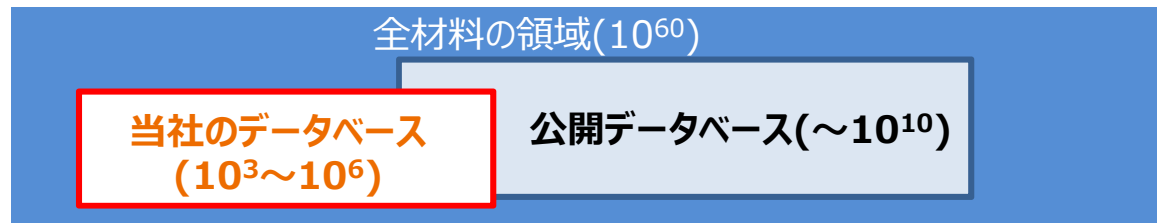


Preferred Networks

- 豊富な実験データ
- 分子シミュレーション技術

イノベーション

AIのプロ集団



数万倍

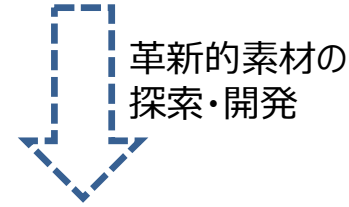
- 分子シミュレーションの大規模化・高速化
- 材料開発における素材・反応の多様化
- 付加価値創出型の人材育成

従来の材料開発

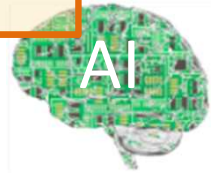
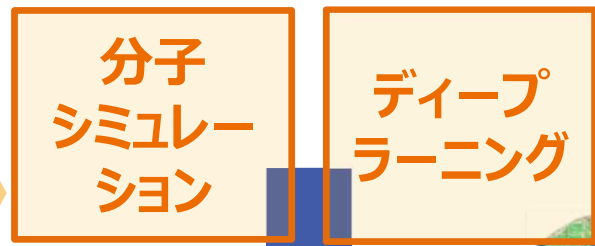
マテリアルズ・インフォマティクス (MI)



個々の研究者の 勘・経験・知見



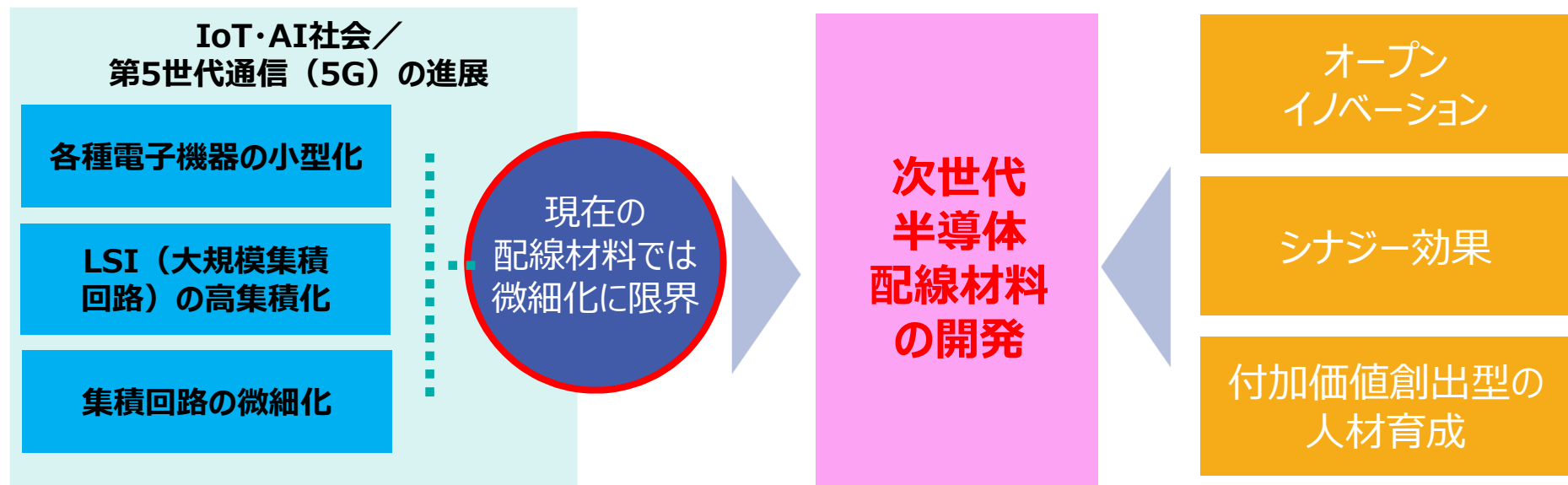
限界がある



可能性を広げる

- 活用可能性がある技術の例
- ・医薬品
 - ・大型二次電池 (自動車、電力貯蔵)
 - ・生分解性プラスチック

4-2. オープンイノベーションによる新素材開発



ご清聴ありがとうございました。

ESG関連投資インデックス構成銘柄への選定(2019年9月現在)

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- SNAMサステナビリティ・インデックス
- 健康経営銘柄2019
- 攻めのIT経営銘柄2019



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数



Member of SNAM
Sustainability Index
2019



2019
健康経営銘柄
Health and Productivity



2019
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

将来見通しに関する注意事項

本資料は、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。
かかる要因としては

1. マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
2. 法律の改正や規制の強化
3. 訴訟等のリスク

などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。